



ニューサークルだより

残念無念の槍ヶ岳 から比良山系最高峰の 「武奈ヶ岳」へ

布引支部 **坂田まゆみ**

梅田発上高地行・夜行バス3列シート・・・
キャンセル1つ発見！！ バス会社に何十回も
電話をかけ、やっとの思いで3列シート確保。
やったー！ラッキー！！

その日の昼休み、スマホのメールチェック。開くと、なっ、なんとニューサークル企画の槍ヶ岳登山が天候不良の為中止という連絡。さっきまでバスの席を確保していたのに！なっ、なんで！・・・困惑と憤りの感情がいっぱいになり、「なんでやねん・・・クソー！」と、思わず悔し涙が出そうになりました。

去年、台風の為に行けなかった槍ヶ岳。今年こそは行ける！絶対に行く！と決め、上高地から槍ヶ岳迄の登山道のイメージを膨らませながら、暑い中トレーニングに励みました。・・・なのに今年も行けない！・・・なんでやねん！なんでやねん！・・・と、怒りと嘆きの日が続きました。

そんな気持ちを何とか払拭したいと、渡田リーダーに近場での山行を計画してもらいました。週末までは天気が悪かったので、日曜日の8月25日に比良山系の最高峰である武奈ヶ岳登山が計画されました。



登山起点の坊村。直進・御殿山コース/右・牛コバへ

三ノ宮駅 7:20 発新快速・湖西線經由敦賀行に乗り、堅田駅で下車。そこからバスで登山口となる坊村まで行きました。



出発時の記念撮影/明王谷から流れる川の橋上にて

明王院を過ぎて橋を渡り、登山道を進んでいくとすぐに急登が始まりました。吉野会長の先導で進み、後ろからくる若い登山者に道を譲り、私たちは一歩一歩踏みしめるように着々と登って行きました。



水分補給中で～す！

御殿山までは急登が続き、我慢我慢の連続でしたが、時折吹く涼風にホッとしながら、又、足元に咲く可憐な花に癒されながら、ペースを変えず登り続けました。



木村支部長が見つけたヤマジノホトトギス

「この尾根コースは御殿山コーと言い、標高差790Mもある比良山系では一番シンドイコース」と会長から聞き、改めて、超スローペースの歩きと適当な水分補給を兼ねた休憩、そして槍ヶ岳行きの為に頑張ったトレーニングのおかげとつくづく思いました。



御殿山・1,097Mの山頂です！

御殿山を出発して少し下り、なだらかな道を進むとワサビ峠に到着。ワサビ峠から少し登り返すと稜線に出ました。ここから一気に見晴らしがよくなり、武奈ヶ岳を含んだ比良山系が一望！！青い空に緑の森林が映え、稜線（西南稜）もはっきり見えて気分爽快！！テンションも最高に上がり、山頂を目指しました。

そこはもうまるでアルプスの山の稜線を歩いているようで、槍ヶ岳への残念無念の思いがいっぺんに払拭されました。



武奈ヶ岳山頂にて

そんな気分の私を大歓迎してくれたのが、比良の「キアゲハ」さん。ず〜と私の帽子に止まって、何か言ってるのです！

「槍へ行かんでよかったやろ〜！雨の中ユウツ

な気分です歩くより、ここでえ〜空気吸うて帰った方がよっぽどえ〜で！！」。

「何とやさしい貴公子のキアゲハさん！ 私には見えませんが、素敵なマントを広げて止まってくれてるのね！！ありがとう！」

モンベルの赤いキャップに、鮮やかな黄色が映え、まるで大きくゴージャスなブローチをあしらったようです。

「ひょっとしてこの写真、モンベルの広宣に使えるのでは？」（会長談）・・・



素敵なブローチでしょ？

名残惜しいですが、先を急ぎますので・・・貴公子さん、失礼します！・・・。

帰りは八雲ヶ原を通り、北比良峠からカモシカ台を経て大山口出る「ダケ道コース」を下りイン谷口へ出ました・・・。



北比良峠にて

吉野会長から「山は逃げません！必ず迎えてくれます。」と言われました。来年こそは必ず迎えてくれる！と信じ、又、日々山歩きを実践していこうと思います。